

令和4年度第2回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 令和4年9月21日（水） 午前9時30分から11時45分
 場 所 日進市役所4階 1・2・3会議室
 出席者 松本幸正（会長）、吉井竜良（委員）、伊東美佐紀（委員）、多田直紀（委員）、大野淳（委員）、花村元気（代理：伊藤泰地）（委員）、山内三奈（委員）、吉金典晃（委員）、坂井敏也（代理：青木健太郎）（委員）、鈴木正敏（委員）、神野建三（委員）、鈴木直宏（委員）、菅美佐子（委員）、木俣恵子（委員）、寺田裕美（委員）、水野隆史（委員）
 欠席者 小林裕之（委員）、佐藤幸太（委員）、池村尚哉（委員）、大林益英（委員）、染川和也（委員）
 事務局 生活安全部 杉田部長
 防災交通課 鬼頭課長
 防災交通課交通政策室 三好室長、井筒係長、水谷主査
 オブザーバー 都市整備部 土木管理課 岡部課長
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり（7名）

発言者	内 容（要 旨）
事務局	それではただいまより、令和4年度第2回地域公共交通会議を開催します。
会 長	今日は朝が寒いぐらいですが、振り返ると8月はコロナが過去最高、雨による災害など暗い話題が多かったです。しかし、ここへきて少しいい話題があり、明るくなってきたかと思います。 大学生の通学も始まり、先日の学会でも多くの人が出て、だんだん戻ってきたような印象があります。皆さんが安心して出かけられるような状態になるといいと思います。 今日はこちらの路線などについて協議いただくので、いろんな視点・立場からの意見で議論したいと思います。ご協力をお願いします。
事務局	21人中4名の欠席報告を頂いており、現状5名の欠席となっているが、会議の成立に必要な過半数の出席を確認しました。 この会議では議事録作成のため、ICレコーダーでの録音を承諾いただき、また、発言の際にはマイクを使用いただきますようお願いします。 また、会議は原則公開としていますが、会長が公開の可否について委員に諮ることとなっています。
会 長	非公開とすべき内容はないと思うが、公開でよろしいでしょうか。
委 員	異議なし。
会 長	では、本会議を公開とさせていただきます。
事務局	それでは、議事に入りたくと存じます。議事進行につきましては、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則の第4条で会長が議長を行う旨、規定されておりますので、松本会長よろしくお願いたします。
会 長	それではここから私の方で議事進行を務めさせていただきます。どうぞ皆様方ご協

	<p>力よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>では、事務局からくるりんばす路線改正案についての説明をお願いします。</p>
事務局	議題「くるりんばす路線改正案」について説明
会長	<p>前回の会議では全体の再編方針をご承認いただき、その方針をもって地区の方のご意見を伺ったと聞いています。その意見を反映した再編案だと思いますが、みなさんの意見を伺います。</p>
委員	<p>12 ページの岩崎線昼間便について、双方向の確保はとても良いと思いますが、岩根や岩崎台の住民は、香久山方面へ向かって用事を済ませるときに、帰りとなる次の便までに時間がなく何もできないと思います。回り方を工夫すると、時間が確保できるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>運行可能なダイヤが組めるかを前提に路線を考案しています。ダイヤ編成が可能なルートであれば、ご提案を受け入れたいと思います。</p>
会長	<p>全ての施設で時間を確保できるということは難しいと思うので、できる範囲で検討してほしいです。</p>
委員	<p>五色園線について、専門部会でも提起しましたが、総合運動公園のところにフリースクールがありますが、現状バス停がありません。そこへ通う子どもたちが行き帰りだけでも使えるようになるといいと思います。</p> <p>どこかを削らなければならなくなることなどの事情は理解できますが、もう一度検討していただけないのでしょうか。</p>
事務局	<p>教育委員会へ交通手段等の問題について確認しましたが、問題が起きていないという回答をもらっています。</p> <p>また、月曜日は施設が閉場するので、中に入れないこともあることや、敷地内では転回ができないことも入れていない理由の一つとなっています。</p>
委員	<p>敷地内に入るのは希望だが、正門前で転回することはできないのでしょうか。</p>
事務局	<p>以前のルートでは、東コースが五色園から三本木方面へのルートだったので、正門前にバス停が設置してありましたが、現行のルートでは転回できないことや、運行時間の問題で経由していません。</p>
委員	<p>全便が経由することはないと思っていて、通学する便だけでもあるといいです。</p>
会長	<p>全てくるりんばすで対応するかどうかを決めなければいけない。</p> <p>例えば、市役所に来ていただいて、そこでフリースクールへ行く手段を考えるのも手だと思います。</p> <p>教育委員会との調整のなかで、くるりんばすが担う範囲を明確にさせていただくことが一番だと思います。</p> <p>事務局はどのくらいの子どもが必要としているのか検討してもらえますか。</p>
事務局	<p>一度検討します。</p>
委員	<p>梅森線について、日生梅森園や梅森台へは朝夕便では経由しないことになっている。</p> <p>くるりんばすの大きなユーザーの高齢者にとっては、時間によって乗るバス停や経由地が変わることは分かりづらいと思います。できる範囲で通勤・通学とお年寄りの使い方に合致したルートの検討をしてほしいです。</p> <p>これが難しい場合には、使う人たちに合わせた周知をしっかりと実施してほしい。</p>

	<p>特に、これから使い始める人にとっては、難しいとハードルが高くなるので、分かりやすい情報提供の工夫をお願いします。</p> <p>また、日進中央線については本数も多く、使い勝手はいいと感じている。くるりんばすで中央線のバス停まで行って、中央線を使うなどの連携が取れるといいと思う。料金統一の連携や上手な乗り方の案内などしていただきたいです。</p>
事務局	<p>前提として、現行の路線に変更した経緯は「分かりにくさの解消」がありましたが、片方向の現状では使いにくさが勝った結果、今回の案に至っています。そのため、分かりにくくなることはある程度やむを得ないことと捉えています。</p> <p>その中で、公共交通計画にも情報提供を事業に位置付けており、公共交通会議としてもどのように情報提供を行うのか考えていきたいです。皆さんに分かりやすい情報提供を心掛けていきたいと思います。</p> <p>また、名鉄バスとの連携について、日進中央線はくるりんばすのマップに情報を掲載していますが、他の路線については掲載されていないため、今後作成していく総合交通マップではそうした他の路線を含めて掲載したいと考えています。</p>
会長	<p>9時～16時の便は今までのくるりんばすで、朝夕便は別のものだという扱いにしてしまう方法は一つの手だと考えられます。</p> <p>朝夕便は便ごとに違うルートとなっているので、これはできるだけ統一して分かりやすくしてほしいです。</p> <p>名鉄バスとの連携については、D Xの観点を含めて検討してほしい。ある自治体では、コミュニティバスと民営バスを同じ運賃にしている事例もあります。</p>
委員	<p>日進中央線はコミュニティバスから民営バスに転換した、全国でも珍しい路線であり、現在は当社の運賃体系で運用しています。</p> <p>コミュニティバスと連携した運賃体系に設定することは可能ですが、複数の自治体にまたがる路線となっているため、その調整を行う必要があり、今回はご意見として承ります。</p>
委員	<p>赤池線について、1便の赤池駅到着が7:15 ごろと聞いていますが、少し早いと感じています。思いとしては8時ごろに赤池に到着したいです。</p> <p>この時間に到着するような1便と2便の間の特別便が設定できないものか検討してほしいです。</p>
事務局	<p>ダイヤ設定は定時性を重要視して編成しており、一番車の交通量が多い時間を考慮している状況があります。</p>
会長	<p>税金で通勤の方を運ぶ必要があるのか、という議論にもなりますが、そもそも運行が可能なのでしょうか。</p>
事務局	<p>名鉄バスとも調整をしていますが、様々な問題があると伺っています。</p>
会長	<p>ダイヤが15分違うと利用者が大きく違うこともあるので、利用したいダイヤ設定をこれからお願いします。</p>
委員	<p>梅森線の昼間便について、西部福祉会館を経由しないことになっています。講座等が開かれているかと思いますが、ここを経由しない理由をこれまでに説明いただいたでしょうか。</p>
事務局	<p>西部福祉会館は今回の路線では赤池線でカバーすることとしています。</p>

委 員	バス停の位置は変わりますか。
事 務 局	若干の変更となるが、大きく遠くなることはありません。
委 員	運転手の労働時間の規制について、拘束時間を減少させる検討がされています。その際には、渋滞等の影響を受けて遅延した場合、その遅延した時間をもって、基準に照らし合わせてチェックすることになりますので、ダイヤ設定の際にはこのことについてもご留意ください。
事 務 局	法規制等の情報について適宜ご提供いただき、適切に対応していきます。
委 員	時期ですが、令和6年4月の施行を目指して進めているので、今回の再編に関わってきます。よろしくお願いします。
委 員	県道等にバス停があり、移設が発生すると思いますが、その際に樹木・植栽を伐採等することになる場所がある場合には、早めに協議を頂きたいと思います。
委 員	循環線について、コンサートなどの催しの終了時 20:30 にはバスがなく、乗合せて帰ることになっています。
事 務 局	法規制の改正で事情が変わることも考えられるが、現行に照らし合わせると、運転士の拘束時間の規制の関係上、20:30 に市役所に到着しなければなりません。 申し訳ありませんが、主催者側で催しの時間をバスに調整していただくことをお願いしたいと思います。
会 長	主催者に公共交通で来場することの考えがないという文化が良くないので、少しずつ変えていってほしいですね。 路線改正案に関して大きな問題点はなかったと思うが、いくつかの変更点が出るかもしれません。 商業施設の滞在時間をチェックしてほしいことや、総合運動公園の教育施設への通学方法についての確認、分かりにくさの解消や対応、労働基準に照らした運行時間のチェックなど、すべてを満たすことは難しいと思いますが、できる範囲で修正してほしいと思います。 皆さんにもう一度見ていただく時間はないので、私と事務局の預かりとさせていただきます、しっかりとチェック・修正して、10月からの地区別説明会に向かうということによろしいでしょうか。
委 員	異議なし。
事 務 局	報告事項（1）運行状況について説明、現況報告
会 長	令和2年、3年よりは上回っているのですが、少し安心ということかと思いますが、まだまだこれからという形ですね。 コロナのことなど含めて、安全安心な運行をして、利用促進に努めていくことが重要だと思います。
事 務 局	報告事項（2）計画推進事業について説明
委 員	鉄道、名鉄バス、くるりんばすの現行の公共交通では限界のある部分を補完するものとして、デマンドタクシーは非常に期待できるものではないかと思います。 実証実験をベースに今後、運行事業者の営業と組み合わせて展開していってほしいと思います。
委 員	自動運転バスについて、現状では自動運転バスの運転は行われていないという認識

	でよろしいでしょうか。
事務局	この10月からデジタルマッピング等を行っていききたい。
委員	自動運転はレベル3の車両しか市販されていないと考えているなかで、実験期間が半年でレベル4の実現に向けた取組みというのは、どういう理解をしたらよいでしょうか。
事務局	国内メーカーでは意見の通りであるが、海外メーカーで実績の多い車種を使用して実証実験を行いたいと考えています。この車は国内でも茨城県の境町で実装されているものとなっています。
委員	実証実験の路線は現行の路線のいずれかで運行するものではなくて、現行路線の一部もしくは新規路線で行う形でしょうか。
事務局	運行路線は固まっていますが、イメージは市役所周辺としています。 最終的には警察との調整を進めることとなり、その後には信号連携なども相談しながら実現していきたいと考えています。
委員	自動運転は国土交通省の実証実験事業の採択を受けています。22件の応募から数少ない採択例となっており、当局としても応援させていただきたいと思っています。
委員	デマンドタクシーについて、料金はエリアによって異なるということですが、通常のタクシー料金との差額を市の方から補填いただける形でしょうか。 ご家族で2人以上乗車された場合は、通常のタクシーの料金と捉えて料金をお支払いいただくのでしょうか、お一人ずつ料金をいただくのでしょうか。 今回の実証実験の仕組みと「デマンドタクシー」の一般的な仕組みでは、少し相違があるように思うので、間違った認識をお持ちにならないように、「お出かけタクシー」のような親しみやすい愛称で周知してはどうでしょうか。 日進市の予算が事業継続に関わると思うが、予算がなくなったから継続できないということにならないようにしていただきたいです。 また、日進市では移動支援事業を行っていますが、このデマンドタクシーとの関連を整理してください。
事務局	料金は通常タクシー料金との差を市で負担するという形であります。また、ご家族で複数人乗られる形でも、表記の料金をお支払いいただくことになります。 事業立ち上げに際して付けた名称が「デマンドタクシー」だったため、このようになっていますが、本格運行となる際には再度考慮します。 移動支援事業との整理については、福祉部局とも緊密に連携しながら進めてまいります。
委員	タクシーがコロナの事情も相まって大変厳しい状態となっています。どのようにしてこの地域にタクシーを残すのか、公共交通に組み込んでいただくのかについて、しっかりと考えていきたいです。 また、行ける範囲について利用者の方に明確にお示しいただくことが重要だと考えています。
事務局	地図上に施設を落とし、番号を振って案内し、その番号で申し込んでいただくことを考えています。
委員	その情報は事業者にも周知してほしいと思います。

事務局	承知しました。
委員	<p>タクシーが一日中フル稼働しているわけではなく、稼働率の高い時間と低い時間があると思うので、タクシー全体として利用率が安定すると、タクシー事業者としてもいいと思います。</p> <p>その中で、利用が増えたら市の持ち出しが増えるような形でない運用形態を視野に入れて進めてほしいです。</p>
会長	<p>今回の形態はタクシーの実入りは減らないですが、乗合となると本来2台のことが1台になるので、実入りが減ってしまうこともある。その後実際には、日進市でタクシーを借り上げて実施することになると、予約がいっぱいで移動できない人が出てくなどの問題が発生します。</p> <p>今回はさまざまな形態を含めて実験して検証するものだと思います。</p>
委員	<p>乗合で運行すると、許可を取って運行することになるので、仮に1件も予約がなくてもタクシーを借り上げていただくこととなります。</p> <p>今回は空いているタクシーを利用する形での実験なので、乗合とどちらが費用対効果として良いのかを含めて検証していかれると思います。</p>
委員	<p>様々なニーズを確認して、どのような手段がいかをお考えいただくことになると思います。</p> <p>その中では、他の交通と上手くいく組み合わせを考えてほしいです。日進市として何にどこまでの負担をして、市民の移動手段を確保するか、検証の中でお考えいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>日進市には現状、タクシーの営業所がない状態です。この状況を課題として捉えていまして、この地域でのタクシーを確保する重要性が高いと思っているなか、昼間のタクシー需要を喚起するねらいもあって、今回の実証実験となっています。</p>
委員	<p>本来、タクシーを呼び出すのに迎車料金がかかるし、そこから運賃がかかることとなります。需要に波があり、その波の低いところに需要を作り出すという取り組みだと認識しています。</p> <p>タクシー運転手の高齢化も進んでおり、そうしたことに対する取組みにもつながると良いと思います。</p>
会長	<p>お出かけを我慢している方々が、この手段で出かけられるようになると、健康に寄与する可能性があるため、そうした意味で税を投入する意味があるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>デマンドタクシーの将来設計について教えてください。</p>
事務局	<p>現時点では、日進市内全域で使えるものになるのか、地区限定のものになるのか、決めて進めているものではなく、検証を重ねて、会議での検討を進めていくものと考えています。</p> <p>また、全体の調和について協議していかなければならないと考えています。</p>
委員	<p>高齢者移送サービスについて、ボランティアになることに抵抗がある方もいると思います。デマンドで移送サービスまでカバーしてもらえるか、その辺りを考えたいです。</p>
会長	<p>まずは皆さんに使っていただき、ご意見を頂くことが重要だと思います。</p>

事務局	報告事項（3）利用促進事業等について説明
事務局	本日の会議はこれもちまして終了となります。次回の会議につきましては1月ごろに開催する予定でございます。 それではこれで本日の会議を終了します。交通安全にお気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。
	午前11時45分 閉会